

航空業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	9～10	旅客搭乗準備中、帰内後方右ドア付近の幼児用救命胴衣が収納されている天井収納棚を閉めようとしたが、手が届かなかった。飛び上がって天井収納棚を閉めようとしたところ、左母指が天井収納棚に突き当たり、痛みを発症した。	30	—
7	14～15	屋外ヘリポートにて、機体の点検を実施しているとき、開いているレドームのパネルを固定している突出したピンが、自分の不注意により目に当たった。	22	300～499
11	13～14	分割搬送用車両を所定の位置に停車させ、荷台ドアを開け次の作業に向かうため振り返ったところ、ドア開閉用ダンパー不良によりドアが下がり、頭部のヘルメットを強打し、受傷した。	37	1000～9999
12	23	飛行中、エコノミークラス化粧室内で意識混濁により倒れている旅客を発見した。応急処置実施中、突然、旅客の意識が戻りパニック状態になって予想外の動きをした。両足が腹部と右腕に数回強く当たりバランスを崩した際、左腰部を化粧室前の壁に強打した。その後、右親指付け根から手首内側に痛みと赤みを伴う腫れがあり、患部を冷却剤と湿布で応急処置をした。当日は最後まで勤務し、業務終了後、病院を受診した。	24	1000～9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html